

資料2-1

# マグネット・カルチャーの取組に係る検証

令和4年8月30日（火）



# マグカル事業の検証

2012年度 マグネット・カルチャー(マグカル)の取組開始  
魅力的なコンテンツの創出と発信、文化芸術人材の育成、情報発信の展開

2019年度 ラグビーワールドカップ2019™

2021年度 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会  
県内の文化芸術の魅力を国内外に発信

2020年～ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大  
オンライン活用、補助金等による支援

2021年度 東京2020大会が終了し、区切りの時期  
マグカル事業の検証を行い、今後の効果的な事業の展開に資する。  
＜対象年度＞2012(H24年)度～2021(R3)年度

# マグカル事業の目的、実施内容

文化芸術の魅力で人を引きつけ、  
地域のにぎわいをつくり出す

## <1 魅力的なコンテンツの創出と発信>

- ・共生共創事業
- ・マグカル・バーチャル開放区
- ・リ・古典プロジェクト
- ・民間団体への補助金
- ・ナイトタイムエコノミー
- ・世界文化交流プロジェクト

## <2 文化芸術人材の育成>

- ・マグカルシアター
- ・かながわ短編演劇アワード
- ・かながわミュージカルアワード
- ・マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー
- ・全国高等学校日本大通ストリートダンスバトル

## <3 情報発信の展開>

- ・ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」
- ・広報誌「イベントカレンダー」
- ・記念誌「Cultural Programs in Kanagawa」(イヤーズブック)

## <4 文化オリンピック>

- ・文化プログラム認証制度
- ・日本大通り流鏝馬騎射式
- ・浮世絵アートウィーク 2019神奈川
- ・伝統芸能アートウォーク2019
- ・東京2020NIPPON フェスティバル
- ・能とオペラの融合舞台

# 1-1 魅力的なコンテンツの創出と発信 事業と効果

## 共生共創事業

シニアや障がい者等が参加する  
舞台芸術事業



共生社会の実現を後押し

## マグカル・バーチャル開放区

毎週日曜に県庁前日本大通りを  
歩行者天国として開放。  
コロナ禍では会場をオンライン上に変更



アーティストに発表の場を提供

## リ・古典プロジェクト

県内の伝統文化を現代の映像技術など  
新たな見せ方で魅力発信



伝統文化の魅力発信・継承

## 民間団体への補助金

民間の優れた文化芸術活動への支援  
コロナ禍における文化芸術活動への支援



文化芸術活動の充実

## ナイトタイムエコノミー

夜の時間帯に文化芸術コンテンツを  
飲食とともに楽しむ(2020年度終了)



訪日外国人向けのエンターテインメントを提供

## 世界文化交流プロジェクト

海外の優れた文化芸術団体を招聘  
(2020年度終了)



国際文化交流を促進

# 1-2 魅力的なコンテンツの創出と発信 参加者数の推移



2013年度  
参加者数  
1,361人

2016年度  
参加者数  
7,377人

2019年度  
参加者数  
191,152人

多くの事業で、  
リアルイベントを中止し  
オンラインに切り替え  
たこと等による減  
(2020~2021年度)

単位：人

2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
—	1,361	552	1,073	7,377	5,127	107,548	191,152	7,974	21,011

**合計 343,175人**

※参加者：リアルタイムに参加・視聴した者（リアルタイム以外の視聴者は除く）

# 1-3 魅力的なコンテンツの創出と発信 **主な成果**

## **コロナ禍でのオンラインの活用**

- 「共生共創事業」 公演、シニアダンスWS動画の配信  
(再生回数:106,411回)

シニア劇団のオンライン稽古  
(実施回数:228回)

- 「バーチャル開放区」 パフォーマンス動画の配信  
(再生回数:685,540回)

- 「カナガワリ・古典プロジェクト」 公演動画の配信  
(再生回数:715,102回)

## **民間の優れた文化事業の推進**

- マグカル推進事業補助金  
申請件数:157件、採択件数:33件

＜採択事業の例＞

- ・横浜赤レンガ倉庫での野外クラシック音楽フェスティバル
- ・ろう者と健常者がともに創る人形劇公演

# 1-4 魅力的なコンテンツの創出と発信 総合評価

共生社会の実現、国際文化交流、観光コンテンツづくり、  
伝統文化の魅力発信・継承など、多様な切り口からの実施

民間の優れた文化芸術活動の推進

オンラインの活用による発表・鑑賞機会の確保及び  
オンラインならではの優れた映像作品の発表の場の  
提供

## 2-1 文化芸術人材の育成 事業と効果

### マグカルシアター

スタジオHIKARIやアートホールをジャンルを問わずに無償で貸し出し、公演の機会を提供



幅広い舞台芸術人材の育成

### かながわ短編演劇アワード

1演目30分間の上演や公開審査により、次代の人材を発掘する演劇作品のコンペティション



演劇人材の育成

### かながわ ミュージカルアワード

県内の伝説・民話等を盛り込んだ地域色豊かなミュージカル作品のコンペティション



ミュージカル人材の育成

### マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー

ミュージカルを中心とした文化芸術人材の育成機関(2021年度終了)



全国で活躍する人材の育成  
県総合高校での舞台芸術科の新設

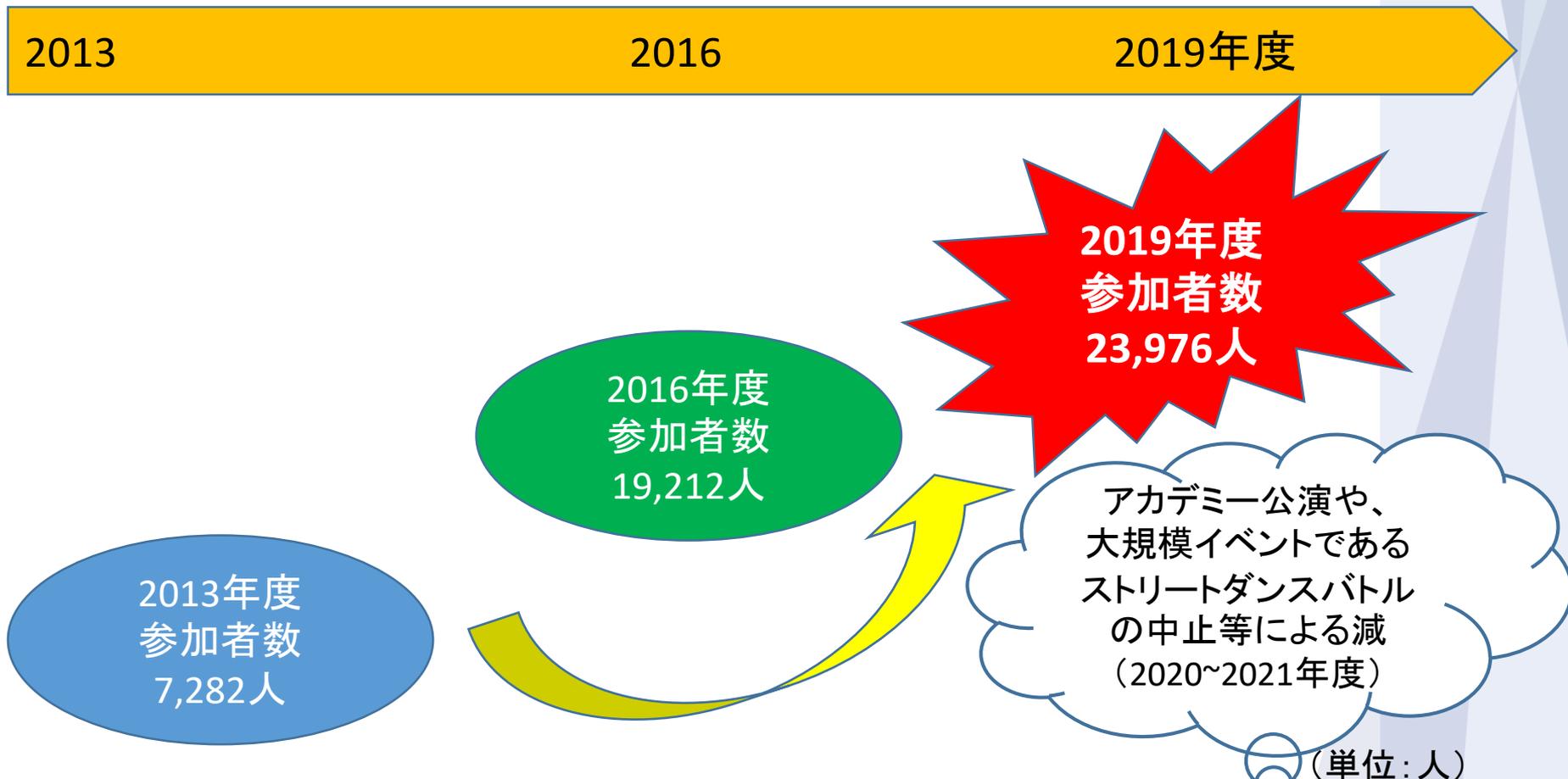
### 全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル

全国の高校生が参加可能なストリートダンスのコンペティション



ダンスを通じた高校生の健全育成

## 2-2 文化芸術人材の育成 参加者数の推移



	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
一		7,282	11,813	15,289	19,212	26,422	24,030	23,976	3,865	6,604

※参加者:リアルタイムに参加・視聴した者(リアルタイム以外の視聴者は除く)

**合計 138,493人**

## 2-3 文化芸術人材の育成 主な成果

### テレビや全国区の舞台での出演

- マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの生徒
  - ・映画の準主役、ロングラン公演、CM
  - ・新国立劇場での舞台

### 公演会場の改善、公演機会の増加

- マグカルシアター  
スタジオHIKARIをブラックボックス化し、舞台公演向けに改修  
(2018年度)  
会場にアートホールを追加(2020年度)  
(2021年度:153公演)

### 認知度向上による参加団体数の増加

- かながわ短編演劇アワード  
(2021年度 応募件数:175件(過去最大))

## 2-4 文化芸術人材の育成 総合評価

様々な分野の文化芸術人材の育成

コンペティション形式やアカデミーの継続的な運営による文化芸術人材の質の向上

様々な質の高い文化芸術の鑑賞機会を県民に提供

## 3-1 情報発信の展開 事業と効果

### マグカル・ドット・ネット

文化芸術情報サイト  
SNSによる発信も実施



サイトの特性を生かし、多くの  
情報を発信

### イベントカレンダー

文化芸術情報を掲載した広報誌



サイトを使用しない人向けの  
紙媒体の広報ツール

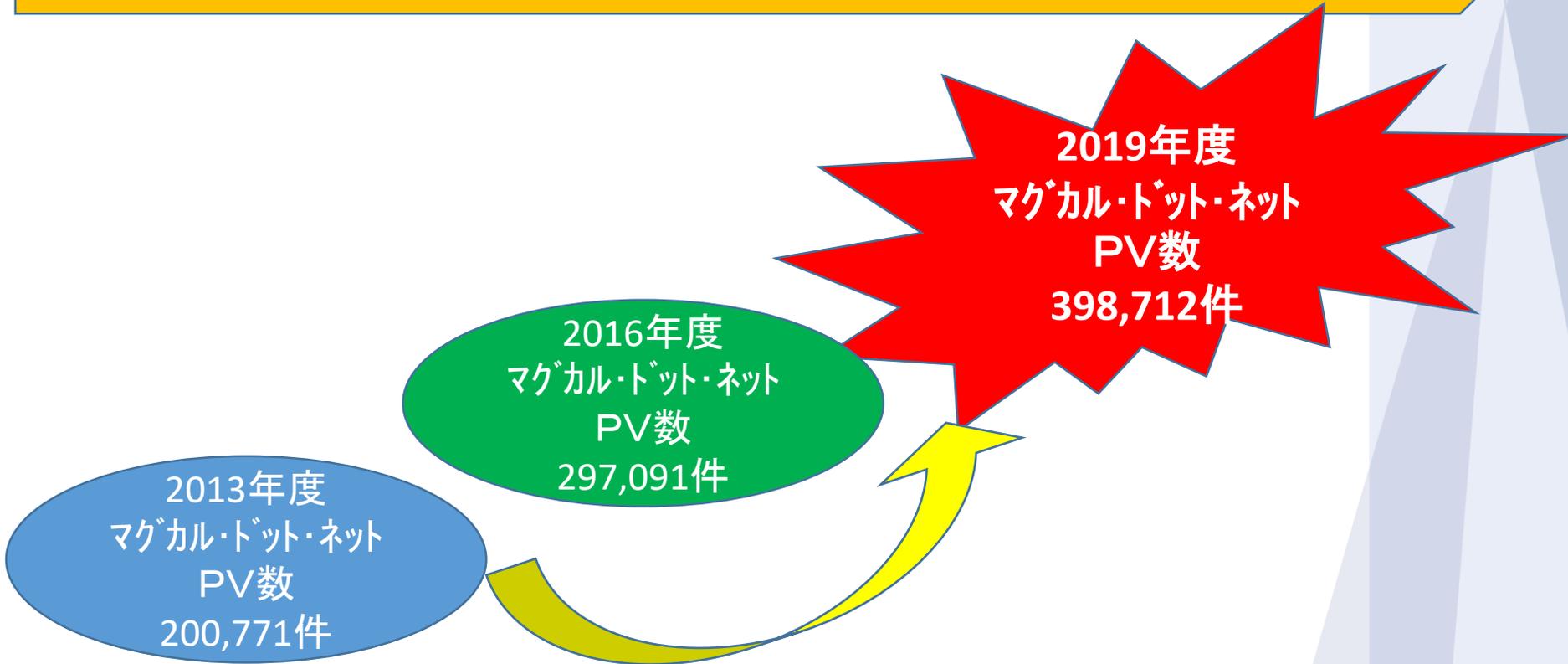
### イヤーズブック

ラグビーワールドカップ2019™や東京2020大会の  
訪日外国人向けの文化芸術広報誌(2021年度終了)



海外の人に県内の文化芸術の魅力をアピール

# 3-2 情報発信の展開 PV数の推移



(単位:件)

2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
—	200,771	305,340	355,222	297,091	335,194	357,231	398,712	307,480	414,764

## 3-3 情報発信の展開 主な成果と総合評価

### 各媒体の連携

イベントカレンダー及びイヤーズブックに、  
マグカル・ドット・ネットの二次元コードを付すことで、閲覧を誘導

サイト、SNS、紙などの様々な媒体や多言語対応による  
幅広い層への情報発信

# 4-1 文化オリンピック 事業と効果

## 文化プログラム認証制度(2017年度～)

東京2020大会に向け、県内の文化芸術イベントに統一したマークを使用

「神奈川の文化プログラム」として一体的にアピール  
機運醸成を図る



## 日本大通り流鏝馬騎射式 (2019年度)

主要公道である県庁前日本大通りでの  
流鏝馬実施という全国まれに見る取組

国内外への伝統文化の魅力発信

## 浮世絵アートウィーク2019、 神奈川伝統映像アートウォーク2019 (2019年度)

浮世絵や県内の伝統工芸品を展示

県内の伝統工芸品をはじめとした  
文化芸術の魅力発信

## 東京2020NIPPONフェスティバル (2019、2021年度)

障がい者等が参加するダンスプログラム、  
音楽、演劇や、文化庁と連携した  
メディアアート展示を実施

共生社会の実現を後押し

## 能とオペラの融合舞台による 創作舞台(2021年度)

日本と西洋の伝統文化を融合させ、  
静御前と源義経の悲劇を描いた創作舞台

和と洋を融合させた  
新たな舞台による魅力発信

## 4-2 文化オリンピックアード 主な成果と総合評価

### 国内外への魅力発信

- 海外の駐日大使を含めた多くの人が鑑賞  
(参加者数:19,740人)
- 動画配信による発信  
(再生回数:25,450回)
- 文化プログラム認証による一体的な発信  
(認証件数:1,732件)

大規模文化プログラムの実施による県の文化芸術の魅力発信

「共生社会の実現」や「伝統文化の継承」の機運醸成

## 5 マグカルの総合評価

- ・「魅力的なコンテンツの創出と発信」、「人材育成」、「情報発信」、「文化オリンピック」といった多様なアプローチ及び様々な取組
- ・参加者：約48万人、再生回数：約154万回、PV数：約297万

⇒「文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域の  
にぎわいをつくり出す」ことができた

## 6 課題と新たな取組

### 東京2020大会のレガシー「共生」の継承

《課題》「共生共創事業」の実施地域に偏りがある。

- ・「共生共創事業の全県展開」を図る。
- ・「県営団地におけるシニア合唱事業」の実施（R4新規）

### ウィズ・アフターコロナにおけるマグカル事業の推進

《課題》コロナによる文化芸術活動への打撃

- ・「マグカル展開促進補助金」による支援（R4新規）
- ・「かながわ県民文化祭」の実施による、文化芸術を楽しむ人の裾野拡大（R4新規）

### 演技・歌・ダンスなど総合的な舞台芸術人材の育成

《課題》アカデミー終了、現在の舞台芸術に求められる分野にとらわれない人材育成

- ・新たな人材育成事業の実施（今後見直し）

# 7 R4年度以降の展開

方針	実施内容
魅力的なコンテンツの創出と発信	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 「共生共創事業」の全県展開(R4拡充)</li><li>▪ 「県営団地におけるシニア合唱事業」(R4新規) (団地住民を対象とした合唱事業を通じて、「共生社会の実現」、「未病改善」、「健康団地」等の実現を図るクロス施策)</li><li>▪ 「カナガワリ・古典プロジェクト」</li><li>▪ 「マグカル展開促進補助金」(R4新規) (先駆的事業、高齢者・障がい者・伝統文化に関する事業等は、補助率や補助上限額に優遇措置を設定)</li><li>▪ 「マグカル開放区」、「バーチャル開放区」(R4拡充)</li></ul>

# 7 R4年度以降の展開

方針	実施内容
文化芸術人材の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・「<b>かながわ短編演劇アワード</b>」</li><li>・「<b>マグカルシアター</b>」（「青少年のための芝居塾」は今後見直し）</li><li>・「<b>かながわミュージカルアワード</b>」（今後見直し）</li><li>・「<b>全国高等学校日本大通ストリートダンスバトル</b>」（今後見直し）</li></ul>
情報発信の展開	<ul style="list-style-type: none"><li>・「<b>マグカル・ドット・ネット</b>」、「<b>イベントカレンダー</b>」（SNSやインターネット広告も活用）</li><li>・「<b>かながわ県民文化祭</b>」（R4新規） （「文化プログラム認証制度」を継続・活用し、県内で9～12月に開催される文化芸術イベントを一体的に広報）</li><li>・「<b>マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー卒業生登録制度</b>」（R4新規） （アカデミー卒業生を登録し、県の広報媒体等に出演）</li></ul>